

東京電力㈱福島第一原子力発電所1号機の高経年化対策に係る  
取組状況の確認結果骨子(案)

平成23年2月23日

福島県及び立地町(大熊町・双葉町)は、東京電力㈱福島第一原子力発電所1号機が、平成23年3月26日に営業運転開始後40年を迎え、引き続き運転が継続される計画であることから、国・東京電力㈱の高経年化対策に係る取組状況を福島県原子力発電所安全確保技術連絡会や立入調査等により確認してきた。その結果は以下のとおりである。

(ハード面において配慮すべき重要な事項)

1 重要機器・構造物についての適切な点検・保守の実施

安全上重要な機器・構造物について、最新知見を反映した診断、補修を着実に行うなど、適切に点検・保守を実施していくことが求められる。

- ① 原子炉圧力容器、炉内構造物の健全性の確認
- ② 原子炉再循環系配管の応力腐食割れに対する適切な対応
- ③ 耐震安全性確保への最新知見の的確な反映

2 機器・構造物についての信頼性向上

機器・構造物について、適時に改善・取替を行うなどにより、原子力発電施設全体の信頼性を一層向上させていくことが求められる。

- ① 機器・構造物の適時適切な改善・取替等
- ② 改善・取替等に係る適切な設計管理
- ③ 放射線業務従事者の被ばく線量の低減

3 トラブル事例を踏まえた保全活動の充実強化

安全性への影響が小さい等の理由から未点検であった箇所の不具合が確認された事例、長期間の供用により製造、施工時の不具合が顕在化しトラブルに至った事例等、最近のトラブル事例を踏まえ、保全活動の充実強化を図ることが求められる。

- ① 未点検箇所の計画的な点検等
- ② 製造・施工時の不具合の顕在化への適切な対応

(ソフト面において配慮すべき重要な事項)

1 高経年化対策の客観性、透明性の確保と経年劣化情報の共有化

高経年化対策に係る取組についての的確に説明責任を果たすとともに、機器・構造物の経年劣化に関するデータの収集、知見の拡充を図ることが求められる。

- ① 県民への高経年化対策に係る取組についての適切な情報提供
- ② 経年劣化に関する知見の拡充と電力会社、メーカー及び学会間の情報共有化

2 保守管理・運営面での劣化防止対策

保守活動に従事する人材の確保・育成、技術レベルの向上を図るとともに品質保証活動を適切に実施していくことが求められる。

- ① 過去の運転・保守経験や技術情報の確実な継承
- ② 不適合管理の着実な推進
- ③ 不正問題再発防止の取組みの定着化

(国・東京電力㈱に特に要請すべき事項)

1 国への要請

東京電力㈱による高経年化対策に係る取組状況の確認評価結果等の定期的な県・立地町への説明。

2 東京電力㈱への要請

- (1) 高経年化対策に係る取組状況等の定期的な県・立地町への報告。
- (2) 長期保守管理方針における短期的取組みの早期実施及び取組状況等の県・立地町への報告。

## 1号機の高経年化対策に係る県、立地町のこれまでの取組状況等

### <平成22年>

- 3月25日 東京電力(株)が1号機の高経年化技術評価(40年目)に基づく保安規定変更認可申請を行うとともに、県、立地町に高経年化技術評価書の概要を報告
- 3月25日 1号機が第26回定期検査のため原子炉停止
- 6月10日 1号機の高経年化対策の実施状況について県、立地町で現地確認
- 7月 2日 県、立地町が1号機の定期検査実施中の安全確保の取組状況についてヒアリングを実施
- 7月20日 県が、第26回定期検査原子炉停止時の安全確保の取組状況に関する確認結果を東京電力(株)に通知
- 7月21日 1号機原子炉起動
- 8月22日 1号機トラブル点検のため原子炉計画停止
- 9月24日 1号機原子炉運転再開
- 10月15日 1号機第26回定期検査終了
- 11月 1日 県、立地町が1号機の定期安全レビューの実施状況についてヒアリングを実施
- 11月19日 東京電力(株)が1号機の定期安全レビューの実施結果の概要を県、立地町に報告するとともに公表

### <平成23年>

- 1月17日 東京電力(株)が国の審査を踏まえ、修正した1号機高経年化技術評価書の概要について、県、立地町に報告
- 2月 3日 東京電力(株)が1号機の高経年化対策の概要について、県原子力発電所安全確保技術連絡会で説明
- 2月10日 県、立地町が1号機の高経年化対策の詳細について、現地確認
- 2月23日 東京電力(株)が1号機の高経年化対策の補足事項について、県原子力発電所安全確保技術連絡会で説明